

# SOA NEWS

VOL - 15 No. 5  
1995.7.7  
(通巻138号)

埼玉県サイクリング協会 〒336 浦和市岸町 3-17-42 埼玉県青少年会館内

TEL/FAX 048-824-2711 SCANET 048-824-2710

## センチュリーラン埼玉無事終了

さる6月11日(日)、第10回センチュリーラン埼玉が北荒川運動公園を主会場として協会指定コースで開催された。梅雨入り宣言がなされた直後なので、天候が心配されたが、朝から好天に恵まれすばらしいサイクリング日和となった。

6時40分から受付が始まり、センチュリー126名、ハーフセンチュリー156名の合計282名のエントリーに対して当日欠席者や走行取消者38名があり総勢245名参加して7時20分から開会式が吉見運動公園管理センター駐車場でおこなわれた。

渡邊理事長の挨拶では、今大会が皆さんの協力で10回の節目を迎えることができた。協会の事業としてすっかり定着したが、一番心配なことは事故のことである。参加者が交通ルールを守り規則正しく走行することが本大会の趣旨であることを力説した。続いて矢作1級インストラクターから走行上の注意が行われ、

10回参加の安達将芳さんに記念トロフィーが渡され開会式を終了した。

不安と闘志が入り交じる中、7時40からまずセンチュリーが10名づつ、1分間隔でスタートした。その後ハーフセンチュリーが続き、8時10分に全員スタートが終了した。

スタート後、間もなく10時39分には最初のゴール者があり役員は息つく暇もないほどであった。12時頃までに約半数の100名近くがゴールした。13時14分にはセンチュリー参加者のゴールが始まり計測係りは天手古舞であった。

例年のように自転車トラブルによるリタイヤー者や行方不明者があり、役員は無線を駆使して連絡を密にとり、参加者の状態をフォローすることができ14時30分、最終ゴール者を迎えて全員怪我も無く大会を終了することができた。

<センチュリー>

ゴール者 104名

リタイヤ 5名

「成績優秀者」

(センチュリー:160Km=規定時間 8時間)

順位 氏名 タイム 年齢

1 関根 宣行 5:21:3523

2 杉本 勝彦 5:28:3942

3 足立 貴義 5:36:4131

4 高岡明比呂 5:37:2330

5 長峰 一雄 5:38:1924

6 清宮善太郎 5:46:5229

<ハーフセンチュリー>

ゴール者132名(センチュリーから変更3名)

リタイヤ 3名

(ハーフセンチュリー:86Km=規定時間 5時間)

順位 氏名 タイム 年齢

1 小久保隆之 2:37:2738

2 塚野 慈郎 2:42:4629

3 高橋 嘉治 2:45:2348

4 渡邊 幸仁 2:48:2530

5 今井 寅雄 2:55:0433

6 綾川 久男 2:56:4844

全員の成績はパソコンネット(SCANET:048-824-2710)の大会データに収録。

### 第37回埼玉県サイクリングラリー案内

期日 平成7年9月3日(日) 雨天決行  
会場 北本自然観察公園(駐車場あり)  
日程 9:00 集合・受付、9:30 公園スタート  
 本田IAポイント 泉福寺 12:00 公園  
内容 従来行われていたゲームサイクリングに変わって、本来のラリーを企画しました。家族でものんびり走れる、自然豊かなコースです。本田IAポイントではセツナの離発着が見物できますし、自然観察公園では野鳥の観察もできます。  
参加費 1,000 円、500 円 = 小学生以下  
 (記念バッチ、保険、飲物代含む)  
その他 詳細は要項をご覧ください。

### インターナショナルチャレンジサイクリング<ツール・ド・秩父>

期日 平成7年10月14日(土) ~  
 15日(日)(異常気象の時中止)  
会場 秩父ミューズパーク  
種目 リゾートコース Aコース約80Km(横瀬、  
 長瀬、西秩父、両神山麓、大滝)  
 Bコース:約60Km(西秩父、両神山麓、  
 大滝)  
 ファミリーコース約30Km(家族向サイクリング)  
参加資格 性別を問わず中学生以上で、  
 自己の責任でサイクリングのできる者。  
 リゾートAコースについては過去の本大会  
 で2回以上完走した者を対象とする。  
 ファミリーコースについては小学生の参加を認  
 めるが、保護者の同伴が必要。  
参加定員 1500名(リゾート<Aコース>  
 300名リゾートBコース>1000名ファミリー  
 200名)  
参加料 リゾート:会員 4,000/一般 5,000 円  
 ファミリー:会員 1,500/一般 2,000 円  
 (記念品、保険料、昼食・その他を含む)  
申込方法 所定の申込用紙に必要事項

を記入し、参加費を添えて実行委員会事務局まで直接持参するかまたは現金書留で申し込む。

申込締切 8月31日(木)(定員になり次第締め切ります)

日程 10/15 12:00 ~ 15:00 受付・車検、  
 15:00 ~ 16:30 開会式 10/16 8:00

集合、9:00 ~ スタート、15:00 最終ゴール

免責事項 大会参加中の一切の事故については参加者の責任とします。

その他 大会中の事故に於いての賠償は参加者全員について主催が加入する保険の範囲内とし、被保険者が直接保険会社に請求するものとします。

原則として雨天決行。但し場合により短縮あるいは中止することがあります。

昨年の大会参加者には要項が実行委員会から郵送されます。それ以外の会員で要項希望の方は協会まで連絡下さい。会員外の方は返信用封筒を同封の上申し込む。

大会事務局 〒368 秩父市熊木町8 -  
 15 秩父市役所第2庁舎

秩父リゾート地域整備推進協議会

インターナショナル・チャレンジ・サイクリング 実行委員会

TEL 0494 - 23 - 2242

FAX 0494 - 23 - 1236



## サイクルOL大会概要

県民総合体育大会サイクルOL大会が朝日新聞インターリング大会と合同開催のため下記の通りとなります。

期日 平成7年11月26日(日)

雨天決行

集合 嵐山町立玉ノ岡中学校

日程 受付 9:00 ~ 9:30、開会式 9:30

競技開始 10:00、閉会式 15:00

競技方法 フリーポイント マスターマップ 方式

参加資格 読図力があり自己の責任においてサイクリングのできるもの。

参加費 1,500円(地図、飲物他)

クラス ジュニアの部、一般の部、シニアの部  
女子の部、グループの部

申込 指定申込用紙に必要事項を記入して郵便振替が小為替で協会まで。

締切 平成7年10月7日(土)

## ブロックラリー案内

第31回関東甲信越サイクリングラリー群馬大会が下記の通り開催されます。参加を希望する方は至急協会まで申込下さい。

期日 平成7年9月14日(木)~15日(金)

会場 水上温泉 ホテル聚楽

参加定員 500名

参加料 会員 13,000円 一般 15,000円

申込 7月13日(木)までに事務局まで

コース 9/14 フリーラン Aコース:谷川岳・一ノ倉沢コース 26km, Bコース:奈良俣ダムコース

48km, Cコース:水上町史跡巡り 10Km

日程 9/14 8:00 - 11:00 仮受付(JR 水上駅、上越新幹線上毛高原駅、ホテル) 15:00

受付=ホテル聚楽(会場までフリーラン)

16:00-17:00 開会式 18:30-20:00 交歓会

9/15 9:00-閉会・解散

## 自転車縦断リレー 好天に恵まれる

「自転車月間」15周年を記念して、全国自転車縦断リレーが実施された。

北は北海道、南は沖縄をスタートした走者は、それぞれ県知事からのメッセージを隣の県までリレー形式で結ぶもので、5月6日埼玉県庁前で日本自転車普及協会、朝日新聞社、埼玉県、埼玉県交通安全協会、埼玉県自転車・軽自動車商協同組合、埼玉県交通安全母の会、埼玉県サイクリング協会等から多くの参加者を迎えてセレモニーが開催された。

埼玉県知事(代理 檜原俊 県民部次長) 日本自転車普及協会(岩崎和夫 第一事業部長)、朝日新聞(蒲浦和 支局長)、埼玉県サイクリング協会(浜田卓二郎 会長)の挨拶に続き、交通安全を唱った「たすき」を群馬県走者から引継ぎ、東京都庁を目指して埼玉県庁前を10時30分スタートした。

7日は東京に集合した各県正走者が都庁前パレードと記念式典に参加し、長いリレーは事故もなく無事終了した。

参加メンバー(敬称略)

正走者: 北村明子、山崎辰雄

伴走者: 山本 弘、岩淵可浩、

園原規文、福島芳江

サポーター: 渡邊廣次、杉本公一



元気よく出発した自転車リレーの代表者と

サポーターたち = 6日午前10時半、県庁で

## 195 関東ふれあい自転車大会に出席して

95 関東ふれあい自転車サイクリング大会が JCA・栃木県協会などの主催のもと 5 月 21 日、渡良瀬遊水地でひらかれた。関東近県から、視覚障害者やボランティアの藤岡高校生ら約 400 名が参加、SCA からは渡邊理事長をはじめ 7 人が、前乗車として協力参加した。

受付を済ませ、同じセクショの障害者・ボランティア・前乗車が一組となって開会式に臨んだ。主催者から「この大会は、関東地区在住の視覚障害者が、サイクリングを通して、健康の保持・増進を図り、社会参加の促進に寄与するとともに、広く栃木県民の参加のもとに障害者に対する理解を深め、交流を広めることにあり、この大会が第 6 回を迎えた」と挨拶があった。

昼食後、栃木県文化大使 2 人によるアトラクションを楽しんだ。夕方の空気圧、サドルの高さ調整等を済ませ、自転車車の練習が 15 分ほど行われた。午後 1 時、5 組が一つの班になり、順次スタートした。

開会式の頃は、雨がパラつき心配したが、薄日もさしてきて絶好の日和となった。各県サイクリング協会役員が前乗車となり、視覚障害者 57 人を後ろに乗せて、遊水池内の谷中湖を 2 周し、15Km のサイクリングを楽しんだ。

日頃自転車に乗る機会のない人達は、吹き抜ける風を感じて気持ち良さそうだった。この大会に参加したことで、サイクリングの楽しさと、ボランティアやサイクリストの人達とのふれあいが深められた一日だったと思われる。閉会式で、お礼の言葉が述べられ、再会を約束して、解散となった。

近藤繁男記

## パソコンネット(SCANET)について

協会では現在パソコンネットの運用を行っています。現在インターネット情報や会員交流室、電子メール、データベース等のサービスを提供しています。NET 情報を得るにはパソコン(ワープロ)、モデム、パソコン通信ソフト、電話が必要です。モデムの構成の相談やマニュアルご希望の方は事務局までご連絡下さい。

ネット会員にならないとメールや掲示板への書き込みは出来ません。会員登録を希望する方ははオンラインサインアップが文書でお知らせ戴ければ協会 ID 番号をお知らせします。

### 《事務局だより》

夏期休業

8/11(金)日～20日(日)

事務局員案内

現在事務局は次の方がボランティアとしてお手伝いをお願いしています。事務取扱いは原則として 10:00～16:00 です。皆さん仕事の合間をぬって詰めてもらっていますので宜しくお願いします。FAX と SCANET がありますのでそちらの方もご利用下さい。

火曜日：初谷幹夫

木 / 1・3 土曜日：臼木啓子(渡邊廣次)

最終日曜日：中屋怜

### 編集後記

川がドーンではないが、色々な事件が続いて起きている。資本主義が崩壊するとまで予言する人もいるが、現世はカオス(混沌)の時代と思われる。今までの予測では計り知れない現象が次々に起きている。どんな時勢になってもせめて人間の気持ちだけは心温かくありたい。(k.w)